
中心市街地活性化基本計画 令和2年度最終フォローアップ報告

令和3年 10 月

内閣府地方創生推進事務局

目 次

- I. 中心市街地活性化基本計画 令和2年度最終フォローアップの概要 …… 1 ページ
- II. 目標指標分野別分析結果の概要 …… 3 ページ
 - (1) 集計結果
 - (2) 取組の進捗状況
 - (3) 目標達成の状況
 - (4) 基準値からの改善状況
- III. 計画期間終了後の中心市街地の状況 …… 9 ページ
 - (1) 進捗・完了状況及び活性化状況について
 - (2) 中心市街地活性化協議会の評価について
 - (3) 市民からの評価、市民意識の変化について
- IV. 取組の進捗・完了状況及び目標達成状況に関する各自治体からの報告 11 ページ

※好事例集については、別途とりまとめ内閣府ホームページにて公表します。

I. 中心市街地活性化基本計画 令和2年度最終フォローアップの概要

最終フォローアップについて

- 国の認定を受けた中心市街地活性化基本計画では、各自治体が複数の目標を掲げている。各目標においては、その達成状況を的確に把握できるよう、定量的な指標（目標指標）を設定している。
- 当該基本計画については、各自治体自ら計画期間満了後に、関連する事業等が予定どおり完了したのか、目標は達成されたのか等を自己評価（最終フォローアップ）として報告することとしている。
- 令和2年度最終フォローアップの対象となる20市の20計画では、合計66の目標指標が設定されており、関連する事業等をもって目標達成に向けた取組が行われてきたところであり、その評価結果をとりまとめる。

令和元年度最終フォローアップ対象計画

20市 20計画 66指標（詳細はP.15に掲載）

【参考：令和元年度】21市 21計画 74指標

取組の進捗状況と目標達成状況に関する集計結果

- 最終フォローアップ対象66指標のうち、計画当初（基準値）より改善した指標は32指標（48%）、関連する事業等が概ね予定どおり完了した指標は55指標（83%）であった。
- 関連する事業等が概ね予定どおり完了し、かつ計画当初（基準値）より改善した指標は30指標となっている。

| | 関連事業が概ね予定どおりに完了した場合 | 関連事業が予定どおりに完了しなかった場合 | 合計 |
|----------|---------------------------------|---------------------------------|-----------------------------------|
| 計画当初より改善 | 30指標(45%) [39指標(53%)] | 2指標(3%) [6指標(8%)] | 32指標(48%) [45指標(61%)] |
| 目標達成 | 16指標(25%) [21指標(28%)] | 1指標(1%) [2指標(3%)] | 17指標(26%) [23指標(31%)] |
| 計画当初より悪化 | 25指標(38%) [18指標(24%)] | 9指標(14%) [11指標(15%)] | 34指標(52%) [29指標(39%)] |
| 合計 | 55指標(83%) [57指標(77%)] | 11指標(17%) [17指標(23%)] | 66指標(100%) [74指標(100%)] |

※表中の[]は令和元年度の状況

(参考) <最終フォローアップにおける取組の進捗状況及び目標達成状況の分類>

- A 目標を達成した。(計画した事業は概ね予定どおり完了した。)
- a 目標を達成した。(計画した事業は予定どおりには完了しなかった。)
- B 目標は達成していないが、計画当初より改善した。(計画した事業は概ね予定どおり完了した。)
- b 目標は達成していないが、計画当初より改善した。(計画した事業は予定どおりには完了しなかった。)
- C 計画当初より悪化した。(計画した事業は概ね予定どおり完了した。)
- c 計画当初より悪化した。(計画した事業は予定どおりには完了しなかった。)

最終フォローアップにおける評価指標の目標達成状況

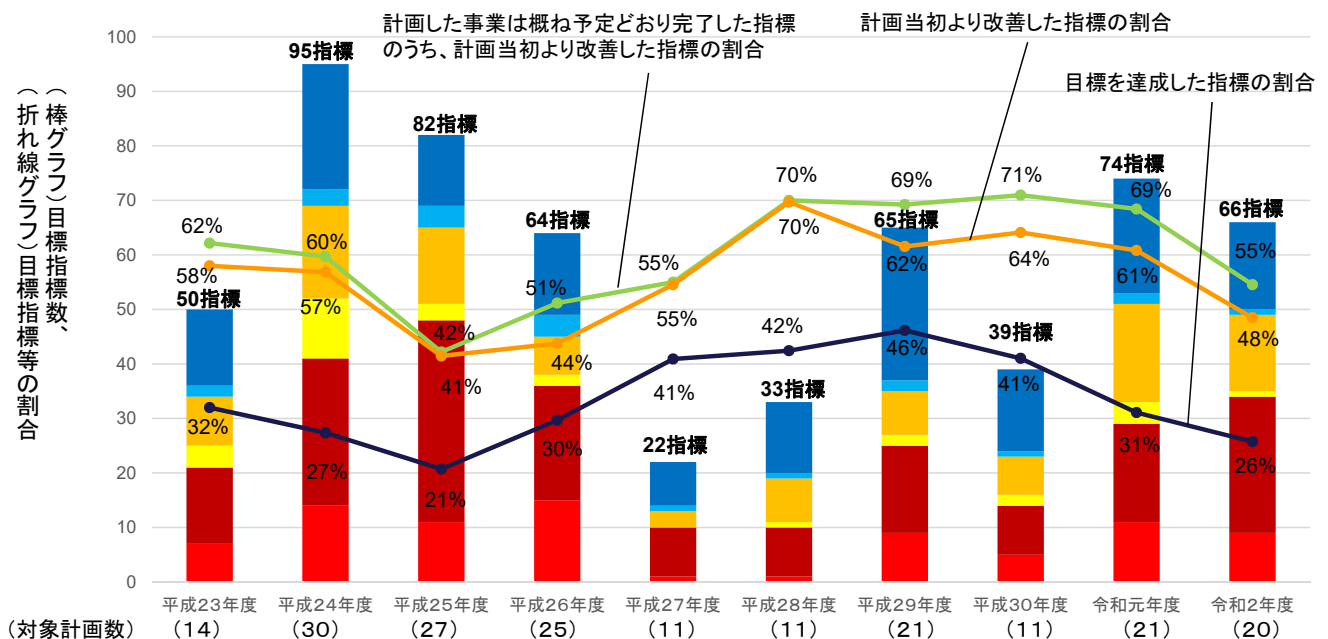
令和3年9月現在、累計148市3町257計画が中心市街地活性化基本計画の認定を受け、うち145市191計画について、計画期間終了後、最終フォローアップ報告書を作成(次の計画期間に入っている自治体を含む)。

最終フォローアップにおける、各計画の評価指標(590指標)の目標達成状況は以下のとおり。

| | 計画当初より改善 | |
|-----------------|----------------------|----------------------|
| | | うち、目標達成 |
| にぎわいの創出：319指標 | 185指標 (58.0%) | 103指標 (32.3%) |
| 街なか居住の推進：117指標 | 47指標 (40.2%) | 23指標 (19.7%) |
| 経済活力の向上：110指標 | 64指標 (58.2%) | 42指標 (38.2%) |
| 公共交通の利便の増進：19指標 | 12指標 (63.2%) | 8指標 (42.1%) |
| その他：25指標 | 14指標 (56.0%) | 11指標 (44.0%) |
| 合計：590指標 | 322指標 (54.6%) | 187指標 (31.7%) |

中心市街地活性化基本計画における目標達成等の状況の推移

(指標数、%)



注：最終フォローアップにおいて、計画期間終了年度における目標達成状況等を確認したもの。

(凡例)

- A : 目標を達成した。(計画した事業は概ね予定どおり完了した。)
- a : 目標を達成した。(計画した事業は予定どおりには完了しなかった。)
- B : 目標は達成していないが、計画当初より改善した。(計画した事業は概ね予定どおり完了した。)
- b : 目標は達成していないが、計画当初より改善した。(計画した事業は予定どおりには完了しなかった。)
- C : 計画当初より悪化した。(計画した事業は予定どおり完了した。)
- c : 計画当初より悪化した。(計画した事業は予定どおりには完了しなかった。)
- $(A+a) / (A+a+B+b+C+c)$: 全目標指標におけるA又はaの割合(目標値を超えている指標の割合)
- $(A+a+B+b) / (A+a+B+b+C+c)$: 全目標指標におけるA又はa又はB又はbの割合(基準値を超えている指標の割合)
- $(A+B) / (A+B+C)$: 計画した事業は概ね予定どおり完了した指標のうち、基準値から改善した指標の割合

II. 目標指標分野別分析結果の概要

各自治体が最終フォローアップを行った目標指標を5分野に分類し、各分野の取組の進捗状況、目標達成状況、基準値からの改善状況等について分析した。

(1) 集計結果

目標指標分野別集計結果

- 各自治体が最終フォローアップを行った目標指標に係る取組の進捗・完了状況及び目標達成の状況等について、以下の①～⑤の5つに分類した上で集計を行った。

| 達成状況 | 全体 | ① にぎわいの創出 | ② 街なか居住の推進 | ③ 経済活力の向上 | ④ 公共交通の利便の増進 | ⑤ その他 |
|------|----|--------------|---------------|--------------|-----------------|----------|
| A | 16 | 6 | 0 | 10 | 0 | 0 |
| a | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| B | 14 | 9 | 2 | 3 | 0 | 0 |
| b | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| C | 25 | 15 | 7 | 1 | 1 | 1 |
| c | 9 | 7 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| 合計 | 66 | 38 | 10 | 16 | 1 | 1 |

| 目標指標分類 | 主な目標指標 | 主な取組例 |
|--------------|---|---|
| ① にぎわいの創出 | 歩行者・自転車通行量、観光・文化施設利用者数 等 | 複合施設整備事業、賑わい交流施設整備事業、地域交流センター整備事業、歩行者空間整備事業、図書館・美術館整備事業 等 |
| ② 街なか居住の推進 | 居住人口、社会増減、市全体の人口に対する中心市街地の人口の割合 等 | 市街地再開発事業、優良建築物等整備事業、住宅取得資金助成事業 等 |
| ③ 経済活力の向上 | 空き店舗数、新規創業数、小売業年間商品販売額 等 | 空き店舗等活用事業、テナントミックス推進事業、まちなか出店支援事業、既存店舗改修事業 等 |
| ④ 公共交通の利便の増進 | 駅乗降客数 等 | 駅周辺整備事業、モビリティ・マネジメント事業 等 |
| ⑤ その他 | 上記以外の指標として、令和2年度は、「まちづくり交流人口」が最終フォローアップの対象となっている。 | |

(2)取組の進捗状況

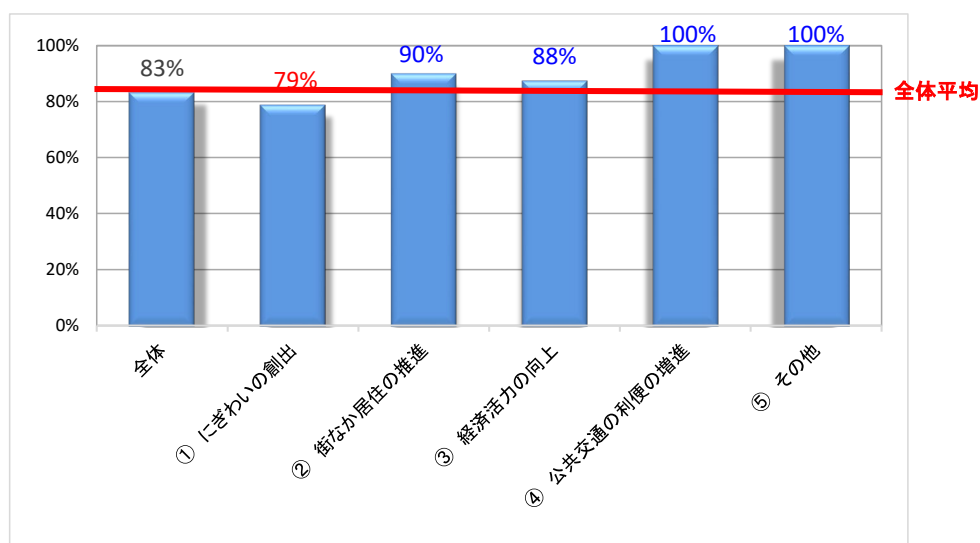
- 関連する事業等が順調に完了した^(注1) 目標指標は、全体の83%である。
(令和元年度 77%)
- 「街なか居住の推進」、「経済活力の向上」等に関する目標指標は、取組が順調に完了した目標指標の割合(取組順調率)が全体平均よりも高い^(注2)。
- 一方で、「にぎわいの創出」に関する目標指標の取組順調率は、全体平均よりも低い^(注2)。

取組の進捗状況に関する分析結果

<各目標指標分野の取組の進捗状況の割合>

| | 全体 | ① にぎわいの 創出 | ② 街なか 居住の推進 | ③ 経済活力 の向上 | ④ 公共交通の 利便の増進 | ⑤ その他 |
|------------------|------------|------------------|-------------------|------------------|---------------------|-------------|
| 順調 (A+B+C) | 55 | 30 | 9 | 14 | 1 | 1 |
| 順調でない (a+b+c) | 11 | 8 | 1 | 2 | 0 | 0 |
| 合計 | 66 | 38 | 10 | 16 | 1 | 1 |
| 取組順調率 | 83% | 79% | 90% | 88% | 100% | 100% |

<目標指標分野別の取組順調率>



(注1) 取組の進捗状況及び目標達成状況の分類(P1参照)のうち、「取組(事業等)が順調に完了した」ものとは、A、B及びCが該当する。

(注2) 全目標指標のうち取組順調率が83%であるため、これと比較して数値が大きい(小さい)場合には、「取組順調率が全体平均よりも高い(低い)」としている。

(3)目標達成の状況

- 目標を達成した^(注1)目標指標は、全体の26%である。(令和元年度 31%)
- 「経済活力の向上」に関する目標指標は、目標を達成もしくは概ね達成した目標指標の割合が全体平均よりも高い^(注2)。
- 一方で、「にぎわいの創出」に関する目標指標の目標達成率は全体平均よりも低く^(注2)、「街なか居住の推進」「公共交通の利便の増進」「その他」に関する目標指標は、目標を達成した指標がなかった。

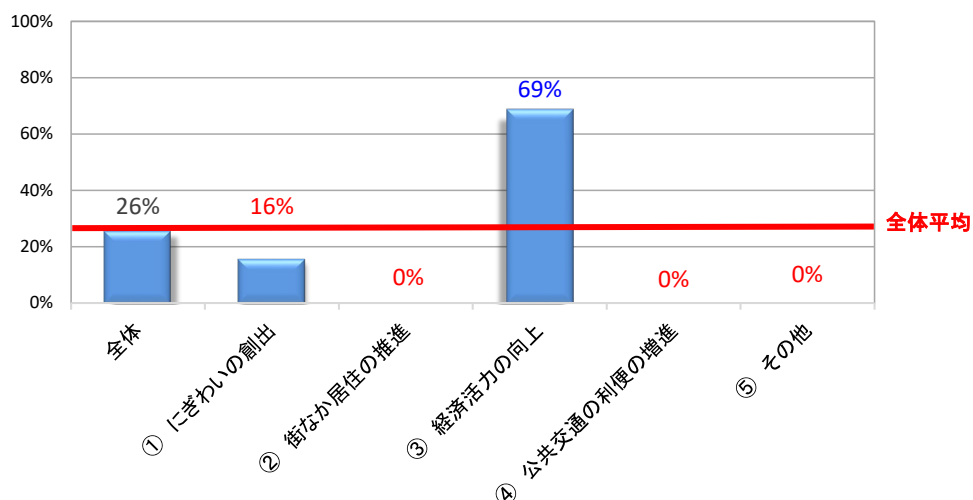
目標達成状況に関する分析結果

<各目標指標分野の目標達成状況>

| | 全体 | ① にぎわいの 創出 | ② 街なか 居住の推進 | ③ 経済活力 の向上 | ④ 公共交通の 利便の増進 | ⑤ その他 |
|------------------------|------------|------------------|-------------------|------------------|---------------------|-----------|
| 目標達成 (A+a) | 17 | 6 | 0 | 11 | 0 | 0 |
| 未達成 (B+b+C+c) | 49 | 32 | 10 | 5 | 1 | 1 |
| 合計 | 66 | 38 | 10 | 16 | 1 | 1 |
| 目標達成率 | 26% | 16% | 0% | 69% | 0% | 0% |
| 概ね目標達成※ (A+a+B1+b1) | 19 | 8 | 0 | 11 | 0 | 0 |
| 概ね目標達成率 | 29% | 21% | 0% | 69% | 0% | 0% |

※B、bのうち目標値を達成していないが、その80%を超えるものをB1、b1とする。

<目標指標分野別目標達成率の比較>



(注1)取組の進捗状況及び目標達成状況の分類(P1参照)のうち、「目標を達成した」ものとは、A及びaが該当する。

(注2)全目標指標の目標達成率が26%であったため、これと比較して数値が大きい(小さい)場合には、「目標達成率が全体平均よりも高い(低い)」としている。

目標が達成できなかった主な要因

- 目標が達成できなかった49指標の主な要因は、次のとおりである。
 - ①事業の遅延または未着手により、計画期間内に効果が発現しなかった。
 - ②事業は概ね予定通りに進捗したものの、当初想定していた効果が得られなかったことや、外的な要因により効果が相殺された。

特に令和2年度においては、新型コロナウイルスの感染拡大による外出自粛、イベントの中止、公共施設等の利用制限が発生した結果、多くの自治体において目標指標の達成に影響が出ている。

その他の、目標が達成できなかった要因の具体例については、下記のとおりである。

- ①の具体例について
 - ・事業実施にあたり、地権者や民間事業者との合意形成が得られなかった。
 - ・事業実施主体が変わり、事業が当初想定していた規模より縮小した。
 - ・事業内容の見直しや調整に時間を要した。
- ②の具体例について
 - ・にぎわいの拠点となる施設が完成し一定の集客につながったが、近隣エリアで集客を集めていた施設との連携が図れず、中心市街地の回遊性の向上にはつながらなかった。
 - ・マンション建設等のハード事業が完了し居住者の増加に寄与したが、中心市街地の高齢化や出生数の減少による自然減をカバーするほどの効果が現れなかった。
 - ・マンション建設や空き家の情報発信、移住相談など事業は概ね予定通りに進捗したが、中心市街地周辺部に大規模集合住宅の建設が相次いだ結果、転入者以上に転出者が生じた。
 - ・ソフト事業をはじめとする各種事業は概ね予定通り実施完了したが、後継者不足による閉店を食い止めたり、住宅一体型店舗のため貸出不能の空き店舗数を改善したりするほどの効果が現れなかった。

計画変更により状況が改善した主な例

- 計画変更により状況が改善したとされた具体例については、以下のとおりである。
 - 回遊性向上のための道路整備（舗装美化）事業に遅れが生じたため、まちなか案内板の設置、サイン整備、道端への四季折々の花の植栽といった事業を計画に追加し実施したところ、歩行者通行量の増加につながった。
 - 当初計画にあった、アクセス性向上のための道路改良事業について、計画期間中に対象路線を増加したことに加え、駐車場及び駐輪場の整備を新規事業として追加したことで、来街者の増加に寄与した。
 - 空き店舗数の減少に向け、以前より実施していた新規出店時の改修費補助事業等に加え、物件（空き店舗）所有者と出店希望者のマッチング事業を新たに実施することで、より一層の効果を生じた。

(4) 基準値からの改善状況

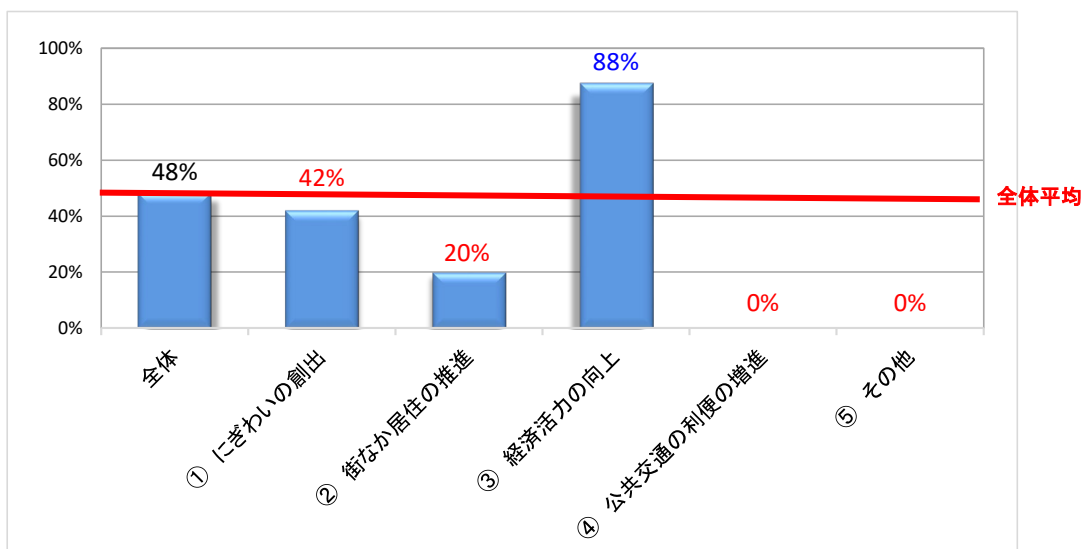
- 現況（実績値）が計画当初の状況（基準値）より改善している^(注1) 目標指標は、全体の48%である。（令和元年度 61%）
- 「経済活力の向上」に関する目標指標は、実績値が基準値から改善している目標指標の割合（基準値改善率）が全体平均より高い^(注2)。
- 一方で、「にぎわいの創出」、「街なか居住の推進」等に関する目標指標は、基準値改善率が全体平均よりも低い^(注2)。

基準値からの改善状況に関する分析結果

<各目標指標分野の改善状況>

| | 全体 | ① にぎわいの 創出 | ② 街なか 居住の推進 | ③ 経済活力 の向上 | ④ 公共交通の 利便の増進 | ⑤ その他 | |
|----------------------------|------------------|------------------|-------------------|------------------|---------------------|-----------|-----------|
| 基準値より改善 (A+a+B+b) | 32 | 16 | 2 | 14 | 0 | 0 | |
| 基準値より悪化 (C+c) | 34 | 22 | 8 | 2 | 1 | 1 | |
| 合計 | 66 | 38 | 10 | 16 | 1 | 1 | |
| 基準値改善率 | 48% | 42% | 20% | 88% | 0% | 0% | |
| 上記の内、 取組の進捗が 順調だったもの | 基準値より改善 (A+B) | 30 | 15 | 2 | 13 | 0 | 0 |
| | 基準値より悪化 (C) | 25 | 15 | 7 | 1 | 1 | 1 |
| | 合計 | 55 | 30 | 9 | 14 | 1 | 1 |
| | 基準値改善率 | 55% | 50% | 23% | 93% | 0% | 0% |

<目標指標分野別基準値改善率の比較>



(注1) 取組の進捗状況及び目標達成状況の分類（P 1 参照）のうち、「現況（実績値）が計画当初の状況（基準値）より改善している」ものは、A、a、B1、b1、B2 及び b2 が該当する。

(注2) 全目標指標の基準値改善率が48%であったため、これと比較して数値が大きい（小さい）場合には、「基準値改善率が全体平均よりも高い（低い）」としている。

Ⅲ. 計画期間終了後の中心市街地の状況

各自治体が市街地の状況や中心市街地活性化協議会及び市民の意見等を参考に、計画した事業が順調に完了したかどうか、また、中心市街地という単位で活性化が見られたかどうかについて総合的な判断を行った。

(1) 事業の進捗・完了状況及び活性化状況に係る自治体の評価について

- 対象20市20計画のうち19計画について、計画した事業が概ね予定通り進捗・完了したと判断している。
- 対象20市20計画のうち19計画について、各自治体の自己評価により中心市街地の活性化が見られたとされている。

【事業の進捗・完了状況】

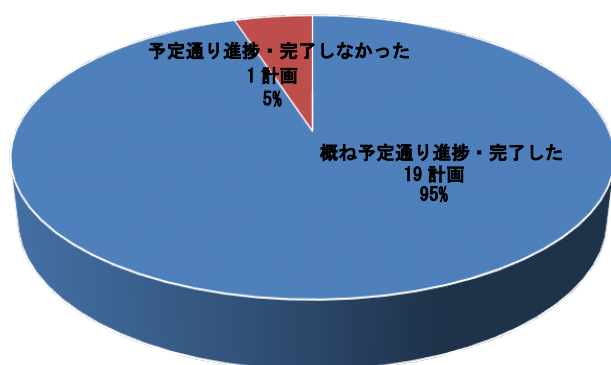
| (計画期間終了後の状況) | 概ね予定通り進捗・完了した | 予定通り進捗・完了しなかった |
|--------------|---------------|----------------|
| 計画数(全20計画) | 19計画 | 1計画 |

【活性化状況】

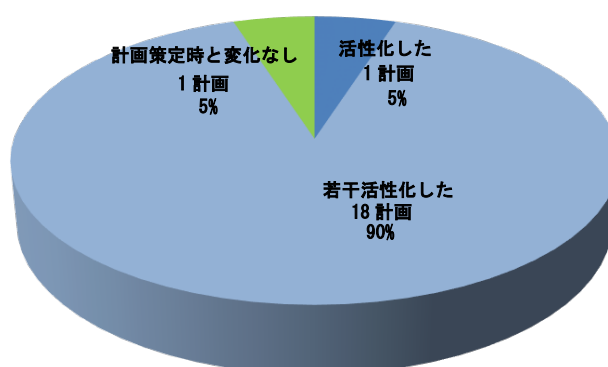
| (計画期間終了後の状況) | 活性化した | 若干活性化した | 計画策定時と変化なし | 計画策定時より悪化 |
|--------------|-------|---------|------------|-----------|
| 計画数(全20計画) | 1計画 | 18計画 | 1計画 | 0計画 |

※計画した事業は予定通り完了したのか、また中心市街地の活性化は見られたのかを、個別指標毎ではなく、総合的に自治体が判断したものを。

【事業の完了状況】



【活性化状況】



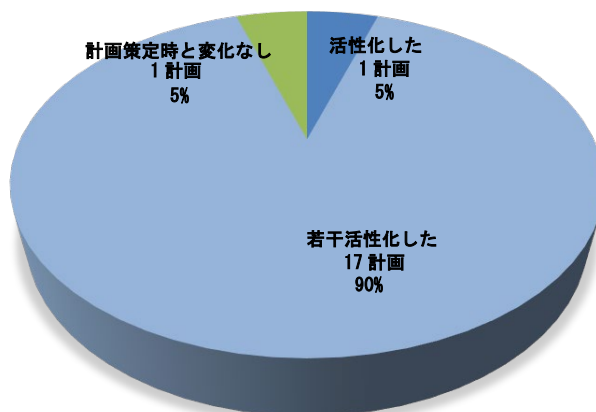
(2) 中心市街地活性化協議会の評価について

○ 対象19市19計画のうち18計画について、各自治体の中心市街地活性化協議会により中心市街地の活性化が見られたとされている。

※本報告書とりまとめ時点で遠野市が協議会の評価を徴取できていないため、対象は19市となる

| (計画期間終了後の状況) | 活性化した | 若干活性化した | 計画策定時と変化なし | 計画策定時より悪化 |
|--------------|-------|---------|------------|-----------|
| 計画数(全19計画) | 1計画 | 17計画 | 1計画 | 0計画 |

※中心市街地という単位で活性化が見られたかどうかを中心市街地活性化協議会として判断。



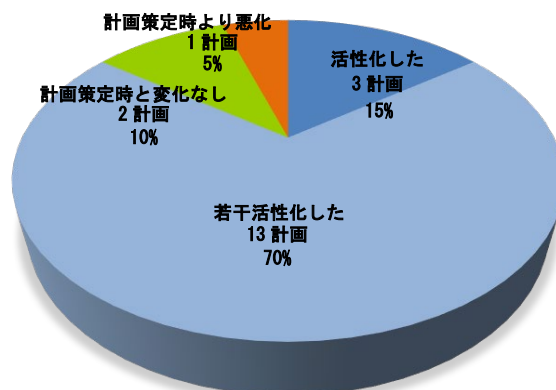
(3) 市民からの評価、市民意識の変化について

○ 対象19市19計画のうち16計画について、各自治体の市民により中心市街地の活性化が見られたとされている一方、1計画については計画策定時より悪化したとされている。

※本報告書とりまとめ時点で遠野市が市民の評価を徴取できていないため、対象は19市となる

| (計画期間終了後の状況) | 活性化した | 若干活性化した | 計画策定時と変化なし | 計画策定時より悪化 |
|--------------|-------|---------|------------|-----------|
| 計画数(全19計画) | 3計画 | 13計画 | 2計画 | 1計画 |

※中心市街地の活性化状況について市民意識調査等により市民の声を聴取し、市民意識の変化を総合的に判断。



V. 取組の進捗・完了状況及び目標達成状況に関する各自治体からの報告

<各目標の達成状況> (自治体評価)

- A 目標を達成した。(計画した事業は概ね予定どおり完了した。)
- a 目標を達成した。(計画した事業は予定どおりには完了しなかった。)
- B1 目標を達成していないが、計画当初の状況(基準値)から目標までの幅の8割ラインを超えている。(計画した事業は概ね予定どおり完了した。)
- b1 目標を達成していないが、計画当初の状況(基準値)から目標までの幅の8割ラインを超えている。(計画した事業は予定どおりには完了しなかった。)
- B2 計画当初の状況(基準値)より改善しているが、目標までの幅の8割ラインには及ばない。(計画した事業は概ね予定どおり完了した。)
- b2 計画当初の状況(基準値)より改善しているが、目標までの幅の8割ラインには及ばない。(計画した事業は予定どおりには完了しなかった。)
- C 基準値に及ばない。(計画した事業は概ね予定どおり完了した。)
- c 基準値に及ばない。(計画した事業は予定どおりには完了しなかった。)

<事業の進捗・完了状況> (自治体評価)

- ① 概ね予定通り進捗・完了した
- ② 予定通り進捗・完了しなかった

<活性化状況> (自治体評価、中心市街地活性化協議会評価、市民評価)

- ① 活性化した
- ② 若干活性化した
- ③ 計画策定時と変化なし
- ④ 計画策定時より悪化

| 都道府県名 | 市町村名 | 目標 | 目標指標 | 自治体評価 | | | 中活協議会 評価 | 市民 評価 |
|---------------|------|--|------------------------|----------|-----------------|-----------|-------------|----------|
| | | | | 達成 状況 | 進捗・ 完了 状況 | 活性化 状況 | | |
| 平成26年10月27日認定 | | | | | | | | |
| 山形県 | 山形市 | 賑わい拠点の創出 商業の魅力向上 街なか観光交流人口の増加 | 歩行者・自転車通行量(休日) | c | ① | ② | ② | ② |
| | | | 空き店舗率 | A | | | | |
| | | | 街なか観光客の入込数 | c | | | | |
| 愛媛県 | 松山市 | 訪れたい都心としての機能強化 都市観光地としての魅力向上 安心して住み続けられる豊かな生活環境の充実 | 中央商店街の歩行者通行量(休日) | C | ① | ② | ② | ② |
| | | | 中心市街地内の観光施設入込数(5施設) | C | | | | |
| | | | 中心市街地内の居住人口 | B2 | | | | |
| 平成27年3月27日認定 | | | | | | | | |
| 島根県 | 江津市 | 中心市街地の回遊性の向上 街なか居住の推進 | 歩行者・自転車通行量 | C | ② | ② | ② | ② |
| | | | 新規店舗出店数 | A | | | | |
| | | | 中心市街地の人口 | C | | | | |
| 山形県 | 酒田市 | 中心市街地の活性化 街なか観光の推進 街なか交流人口の増進 | 歩行者・自転車通行量 | c | ① | ② | ② | ④ |
| | | | 商店街空き店舗数 | A | | | | |
| | | | 観光施設入込数 | c | | | | |
| 福島県 | 福島市 | 賑わいの創出 快適居住の促進 | 歩行者・自転車通行量 | C | ① | ② | ② | ③ |
| | | | 新規出店舗数 | A | | | | |
| | | | 居住人口 | C | | | | |
| 岡山県 | 倉敷市 | 倉敷がまもり育ててきた伝統文化を活かし、まちの魅力を上向きさせる 歩いて楽しい、暮らしやすいまちを形成する まちなかに人を誘導し、交流を促進する | 文化・交流施設利用者数 | C | ① | ② | ② | ② |
| | | | 主要有料観光施設入場者数 | B2 | | | | |
| | | | 歩行者・自転車通行量 | C | | | | |
| 滋賀県 | 守山市 | 新たなサービスにより、にぎわいが感じられるまち 子どもから高齢者まで幅広い世代が誇りと愛着を持ち共生できるまち 地域資源を活かし、魅力的で歩いて楽しく回遊できるまち | 新規出店舗数 | A | ① | ② | ② | ② |
| | | | 中心市街地内の福祉・文化・交流施設の利用者数 | A | | | | |
| | | | 歩行者・自転車通行量(平日) | C | | | | |
| 平成27年6月30日認定 | | | | | | | | |
| 大分県 | 竹田市 | 観光地としての魅力の向上 まちなかの回遊性の向上 まちなか居住の推進 | 地区内年間観光客数 | C | ① | ② | ② | ① |
| | | | 地区内歩行者通行量 | C | | | | |
| | | | 地区内居住人口 | C | | | | |
| 平成27年11月27日認定 | | | | | | | | |
| 岐阜県 | 大垣市 | にぎわいの創出 まちなか居住の推進 空き店舗の減少 | 中心市街地の休日歩行者・自転車通行量 | A | ① | ② | ② | ② |
| | | | 中心市街地の居住人口 | C | | | | |
| | | | 商店街振興組合連合会内空き店舗数 | A | | | | |
| 広島県 | 三原市 | 賑わいの創出 商業の活性化 街なか居住の推進 | 歩行者・自転車通行量(平日) | B2 | ① | ② | ② | ③ |
| | | | 歩行者・自転車通行量(休日) | C | | | | |
| | | | JR三原駅の1日当たりの乗降車人員数 | C | | | | |
| 鳥取県 | 米子市 | 人が集いにぎわうまち 歴史や文化、自然に触れ合えるまち 住みたくなるまち | 小売業事業所数及び小売業年間商品販売額 | B2 | ① | ② | ② | ② |
| | | | 商店街の空き店舗数 | B2 | | | | |
| | | | 居住人口 | B2 | | | | |
| | | | 歩行者等通行量(自転車を含む) | C | ① | ② | ② | ② |
| | | | 駐車場の利用台数(時間貸しのみ) | C | | | | |
| | | | 文化施設の利用者数 | C | | | | |
| | | | 下町観光ガイドの利用者数 | B1 | | | | |
| | | | 人口の社会増減 | C | | | | |

| 都道府県名 | 市町村名 | 目標 | 目標指標 | 自治体評価 | | | 中活協議会 評価 | 市民 評価 |
|--------------|------|----------------------------------|------------------------|----------|-----------------|-----------|-------------|----------|
| | | | | 達成 状況 | 進捗・ 完了 状況 | 活性化 状況 | | |
| 平成28年3月15日認定 | | | | | | | | |
| 愛知県 | 田原市 | まちなかを歩く人を増やす | 歩行者・自転車通行量(平・休日3地点平均値) | B1 | ① | ② | ② | ① |
| | | まちなかに住む人を増やす | 居住人口 | c | | | | |
| | | 新規出店や活動場所を増やす | 新規出店・開設施設数 | A | | | | |
| 三重県 | 伊勢市 | 中心市街地の魅力増進によるにぎわいの創出とまちなかの回遊性の向上 | 商店街の歩行者通行量 | C | ① | ② | ② | ② |
| | | 商店街の魅力創出による商業の活性化 | 空き店舗率 | C | | | | |
| | | 都市機能の強化によるまちなか居住の推進 | 人口の社会増減 | C | | | | |
| 岩手県 | 遠野市 | 観光客が訪れる中心市街地 | 中心市街地観光施設入込数 | c | ① | ② | | |
| | | 人々が行き交う中心市街地 | 中心市街地通行量 | c | | | | |
| | | 生活が充実する中心市街地 | 中心市街地新規出店数 | a | | | | |
| 京都府 | 福知山市 | まちなか観光による人々が集う賑わいあるまち | 歩行者・自転車通行量(平日・休日の平均) | B2 | ① | ② | ② | ② |
| | | 「人・もの・情報」が集まり、誰もが快適に暮らせるまち | 歴史文化・交流施設利用者数 | A | | | | |
| | | 生活の質を高め、「しごと」の場がある活力あるまち | 新規店舗開業数 | A | | | | |
| 兵庫県 | 丹波市 | ストック活用による集客・交流機能の強化 | 歩行者・自転車通行量 | b2 | ① | ③ | ③ | ② |
| | | 暮らしを支える文化・社会サービスの提供 | 文化・交流施設利用者数 | c | | | | |
| | | 地域経済の新陳代謝を生む企業・創業支援 | 新規店舗開業数 | c | | | | |
| 兵庫県 | 明石市 | 『便利で暮らしやすいまち』にする | 都市福祉施設利用者数 | A | ① | ① | ① | ① |
| | | 『一歩足を伸ばして楽しめるまち』にする | 歩行者・自転車通行量 | B2 | | | | |
| | | | 新規出店者数 | A | | | | |
| 大分県 | 佐伯市 | 便利で過ごしやすく人が集うまち | 歩行者通行量 | A | ① | ② | ② | ② |
| | | 人々が活発に交流しふれあうまち | まちづくり交流人口 | C | | | | |
| | | | 空き店舗率 | B2 | | | | |
| 佐賀県 | 唐津市 | 賑わいあふれる魅力ある商業の創出 | 来街者満足度 | B2 | ① | ② | ② | ② |
| | | 訪れたい魅力ある観光の創出 | 中活エリア内観光施設入り込み客数 | C | | | | |
| | | | 歩行者通行量(休日) | B2 | | | | |
| 山形県 | 長井市 | まちなかのにぎわい創出 | 中心市街地における創業事業所数(年間) | A | ① | ② | ② | ② |
| | | | 歩行者通行量(年間) | A | | | | |
| | | | まちなか観光客数(年間) | A | | | | |